



[花き部門]

[農業研究所ホームページへ](#)1. 8月下旬から開花するF₁青花中生リンドウ新品種「岡山RND5号」の育成

[要約]

リンドウ「岡山RND5号」は、F₁青花新品種である。真庭市蒜山地域では、本県オリジナル品種「岡山リンドウ1号」と「岡山リンドウ2号」の間の8月下旬から開花する中生品種である。

[担当] 農林水産総合センター農業研究所 高冷地研究室

[連絡先] 電話0867-66-2043

[分類] 技術

[背景・ねらい]

本県は西日本一のリンドウ産地である。これまでに農研では、6～10月までの県オリジナル品種による連続出荷体制の確立のため、F₁青花極早生、早生、中生等の品種を育成してきた。これまでの出荷体制を更に強化し、産地の発展に寄与するため、既存のオリジナル品種が開花しない時期の新たな品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「岡山RND5号」は、農研で交配し、育成したF₁青花中生品種である。
2. 真庭市蒜山での開花時期（2021年、2年生株）は8月下旬から9月上旬で、平均開花日は、「岡山リンドウ1号（おかやま夢りんどう早生2号）」より33日程度遅く、「岡山リンドウ2号（おかやま夢りんどう中生）」より11日程度早い（データ省略）。
3. 花冠表面の色（花冠裂片の表面の色及び花冠の外面上部の色）はStrong Violet（RHS：N89BもしくはN89A）で、花冠の外面上部の斑点はなく、開花した花弁の先端は内曲する（表1、図1）。
4. 地上部乾物重と花茎数は、市販品種「F1しなの3号」と比較して、有意ではないものの多い（表2）。
5. 花冠裂片の表面の色及び花冠外面上部の色には、20個体中5個体で分離がみられた（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 開花時期や生理障害の発生は、栽培場所や生育時の気象条件により変化する。
2. 主要病害に対する耐病性は未確認である。
3. 花冠裂片及び花冠外面上部に色の分離が見られるため、品種登録はしない。
4. 県オリジナル品種の愛称は関係機関と協議の上、全て「おかやま夢りんどう」に統一し、「岡山RND5号」は必要に応じて「おかやま夢りんどう（岡山RND5号）」と記載することとしている。



[具体的データ]

表1 「岡山RND5号」の主な特徴（2年生株）

調査項目		
草姿	草丈 (cm)	118
側枝	1節側枝発生数	0.0
	2節以上の側枝発生数	0.0
葉	葉長 (cm)	7.6
	葉幅 (cm)	2.3
	葉身の形状	披針形
	葉表面の色 (RHS)	Dark Yellowish Green (139A)
花	花冠裂片の表面の色 (RHS)	Strong Violet (N89B)
	花冠の外面上部の色 (RHS)	Strong Violet (N89A)
	花冠の外面上部の斑点の粗密	無
	花冠の形	釣鐘型
	花冠の長さ (cm)	4.7
	花冠の直径 (cm)	1.5
	花冠の先端の反り	内曲
開花期	平均開花日	真庭市蒜山 8月26日
		赤磐市 8月20日
	50%開花日 ^z	井原市 8月17日
		吉備中央町 8月24日
着花特性	頂部の花の数	2.8
	花段数	6.9

注) 播種：2017年4月16日、定植：2017年6月12日

施肥：N-P₂O₅-K₂O=1.2-1.0-1.5 (kg/a) とし、慣行栽培した^z開花率が50%を超えた日表2 「岡山RND5号」の地上部の乾物重
(2019年1年生株)

品種・系統	地上部乾物重 ^z (g/15株)		花茎数 (本/30株)
岡山RND5号	201.0 ± 7.1		49 ± 4.2
F1しなの3号	158.4 ± 12.1		37 ± 0

^z平均値±標準偏差

表3 「岡山RND5号」の花色の分離 (n=20)

形質	Strong Violet		
花冠裂片の表面の色	N89B ^z	N89A	N89B
×	×	×	×
花冠の外面上部の色	N89A	N89A	N88A
個体数	15	3	2

^zRHSカラーチャート値注) 農林水産植物種類別審査基準による均一性判定では
供試個体が20の場合、許容される異型個体数は1である

図1 「岡山RND5号」

左：草姿

右：花を拡大した様子

[その他]

研究課題名：岡山県の気候に適したリンドウ新品種の育成

予算区分・研究期間：県単・平29～継続

研究担当者：竹岡みのり、林祐貴、藤本拓郎